

第一次桂内閣の初政と政友会 山本 四郎

木下尚江・明治三十九年夏——社会主義

運動離脱の論理と心理——後神 俊文

犬養毅と孫文の革命 彭 澤周

憲政会論——その財政・経済政策を中心に——里上 龍平

日本帝国主義と朝鮮の社会的変革 芝原 拓自

(菊判一、一五〇頁 昭和四五年二月小

葉田淳教授退官記念事業会刊 京都大学文学
部内説史会発売 定価五〇〇〇円)

(広川禎秀)

R・W・VAN・アルスタイン

高橋章・長田豊臣・山本幹雄訳

アメリカ帝国の興隆

本書は、一九六〇年に出版されて以来、アメリカ外交研究者のみならず、全てのアメリカ史研究者の間に大きな波紋を投げかけ、さまざまな方向へのアメリカ史研究の発展を啓発してきた、示唆的で魅力に富む著作である。

本書の企図は、アメリカ史を「帝国」の

歴史として、すなわち一貫した膨脹主義国家の歴史として把握することにある。筆者のアルスタイン教授は、これを、植民地時代から、F・D・ローズヴェルト政権に至るまでのアメリカ史を辿りつつ試みられている。

本書が、アメリカ史研究者間に大きな波紋を投じたのは、何よりも、アメリカ史像を、従来の民主主義国家の歴史としてではなく、侵略的「帝国」の歴史として再構築した点にあらう。この点で、本書は、「アメリカ」民主主義国家」の神話を打破し、より冷静で客観的なアメリカ評価へと、研究者のみならず、世人の眼をも開いてくれたともいえる。

このような新たなアメリカ史像は、とりわけ、いわゆるニュー・レフト系のアメリカ史研究者によって受け容れられ、すでに具体的成果をも生みつつある。アメリカ帝国主義成立に関する、近年最大の業績である、W. LaFeber, *The New Empire, 1898-1914*, Cornell Univ. Press など、その典型例である。

その他、本書が示唆的であるのは、以下のような点である。アメリカの膨脹との関

連におけるカナダ史への注意の喚起。アメリカの大陸内膨脹の中でのインディアンへの地位についての言及。モンロー主義についての積極的解釈。現代アメリカ外交における、感情主義、倫理主義の存在の指摘。一九世紀末アメリカの海外膨脹を、F・ビー・マイスのように「断絶」としてではなく、史的連続性において捉えていること、など。

このような多くのメリットにもかかわらず、本書には、疑問の点も多々ある。とりわけ、「帝国」という言葉を使用せねばならぬ必然性が不明確である。本書を一読すれば、「帝国」という用語が、単に膨脹主義国家を意味しているにすぎぬことは明白である。それゆえ、「帝国」の歴史として捉えられた彼のアメリカ史は、平板な膨脹主義国家としての歴史でしかありえない。彼の、アメリカ現代史への論究が弱いのも、この点の制約をうけているものと思われる。膨脹主義国家（帝国）アメリカの内部構造の変化と、それに応じた、膨脹の質の変化にこそ一層の注意が向けられるべきではなからうか。

いずれにせよ、新たなアメリカ史像を提起することによって、アメリカ史研究に輝

かしい貢献をなした本書が、ヴェトナム戦争、黒人問題等を通じて、冷静で客観的なアメリカ評価の必要が認識されつつある今日、訳出されたことの意義はまことに大きいといえよう。

(A5判 二九七頁 昭和四五年七月ミネル
ヴァ書房刊 定価二二〇〇円) (横山 良)

「史林」投稿規定

本誌の投稿規定は次の通りです。ふるって御寄稿下さい。

◇資格 本会々員であること。

◇投稿受付原稿の種類・長さなど

◇研究論文 四百字詰五〇枚程度

◇研究ノート 右同

以上には四百字以内の「要約」と、英文要約(又は翻訳用原稿)添付のこと

◇学界動向 四百字詰三〇枚以内

◇批判と反省 右同

◇書評 四百字詰二〇枚以内

◇紹介 同 三枚程度

◇資料紹介 適宜

◇学界消息 適宜

◇写真・凸版・口絵など

必要最小限度で、ご自由に使用していただいて結構です。

◇なお「史林」の論文掲載の順序は、いわゆる巻頭論文制を採用せず、日本史・東洋史・西洋史・地理学・考古学の専攻順、各専攻の中では時代順・地域順等となっています。前以てお含みおきます。

委員会だより

◇前号でお知らせしましたとおり、本号より、会費を値上げいたしました。前納いだだいております会費は、本号より一号あたり三〇〇円として、差引かせていただきますので、ご了承下さい。

◇苦難の五三巻に別れをつけ、五四巻をスタートいたしました。これからの夏場で、刊行のおくれを一気に解消いたします。「史林」の正常化も、あと一歩となりました。

◇相ついでお届けしておりますので、会費の方もお願いいたしますよう、よろしく願います。

史 林 (第五四巻第一号)

一九七〇年一月一日発行 定価三五〇円
一九七一年一月一日発行

発行人 史 学 研 究 会

京都市左京区吉田本町
京都大学文学部内

理事長 織 田 武 雄
振替京都五一五五番

印刷所 中村印刷株式会社
京都市下京区七条御所ノ内中町五〇